

福島県PTA連合会会報
第33号_H04.02.27

福連P
ふん
ま

5-1内館53-1
会連合
部年
屋少
田P
字青
岩黒
島島
市県
福福
島島
電話
発行人
印刷

5982
2
朋
和
井
櫻
井
孔
泉
朋
所
印
刷
所
電話
57-1071



この一年を省みて
県連P会長 櫻井 和朋

平成三年度は、県連P創立四十周年の記念すべき年でした。県連Pは、記念事業として、記念誌「40年の歩み」を発刊し、歴史をふりかえりました。そして、先人の築き上げた良き伝統に学び、今後のPTA活動の一層の充実進展を誓いました。

このような大きな節目の年に、会長として滞りなく任務を遂行出来たのも、県P三役、理事、県下会員の皆様の暖かいご支援、事務局の方々の献身的なご協力の賜と深く感謝しております。

さて、今年歩みを見ても、第一に、県PTA安全互助会の保険内容の改定という、かねてからの懸案となっていた問題がありました。出来るだけ時代にマッチした内容にしようと、種々検討し、現行の制度に決定させていただきました。掛金の高額化による加入率の減少が懸念されましたが、皆様のご理解により、さしたる減少もなく、順調に推移したのは幸いでした。

第二に、学校週五日制が、次第に具体的な日程を伴って話題になって来りました。八月の日P高知大会、九月の東北P鶴岡大会、ともに特別分科会で、五日制が取り上げられまし

た。平成四年九月から、週一回の土曜休校という話も聞こえておりますので、各PTAとして、今後、早急に、真剣に取り組みなければならぬと存じます。教育改革の第一歩は、自己の意識の改革、つまり、自分の家庭教育の見直し、自分達の地域の教育力の再検討、また真の学力とは何か、等から始めてはいかかでしょうか。「学習するPTA」が求められていると思えます。

本会の一層の伸展の為に皆様のご意見をおまわししております。

輝く文部大臣・日本PTA 東北PTA会長表彰受賞 平成三年度

◎ 菊かおる平成三年十月十八日、ホテルニューオータニにおいて、日P主催の、平成三年度優良PTA及び功労者表彰式が盛大に挙行された。

◎個人表彰
神津 武志
(前県連P副会長)
榮 壽
(前県連P副会長)

◎団体
福島市立野田中学校
父母と教師の会
郡山市立東芳小学校
PTA
古殿町立竹貫田小学校
PTA
船引町立瀬川中学校
父母と教師の会
猪苗代町立猪苗代中学校
父母と教師の会
いわき市立錦東小学校
PTA



◎個人
五十嵐 謙吉
(前県連P理事)
西澤 久仁男
(前県連P理事)
安達 智
(前県連P理事)
田中 隆
(前県連P理事)
佐藤 老松
(前県連P理事)
猪野 衛雄
(前事務局長)

《福島》 子どもの しあわせをねがって

福島市立大森小学校PTA

本校は福島市の南西部

に在り、吾妻小富士などが山肌をくっきり見せている。すぐそばに、伊達家の大森城跡もある。

自然に恵まれ、歴史もある街であるが、現代的工場ができ、日本各地を出身地とされる会員も多い。

会は、子ども達のしあわせを願い、一人ひとりの自覚と協力をもとに、共通理解にたつて諸活動



(交通事故絶無を願って
自転車安全点検)

を推進している。

本部は、各委員会の連絡調整と共に、全員の協力を得て、冊子「おおも」を発行、研修旅行や「廃品回収を主催し、会員の親睦と見聞を高め、会の運営の健全化に努めている。因に今年度の研修旅行は、いわきの石炭化石館や白水阿弥陀堂めぐりである。

教養委員会は教育講演会や懇談会を主催している。前者では家庭における親子の在り方を考え、後者では、性教育について協議してきた。その難しさから、来年も是非やってほしいとの声があった。

広報委員会は、年二回の会報「あすなろ」とその間を埋める「PTAニュース」三回を発行し、会の運営や子ども達・会員の様子を伝えている。充実した内容が市教育委員会の先生の目にとまり市の教育懇談会への参加

を要請されたこともあった。

厚生委員会は会員の球技大会を主催し、バレー、ソフトなど会員のクラブ活動を応援し、バザーを主催している。

回収と共に資源の再利用と会の運営に貢献している。

施設委員会は奉仕作業や枯葉集めなどで、子ども達の学習環境の整備に努め、校外育成委員会は自転車点検、危険箇所点検とマップ作成、ストップマークを書き替えて、子ども達の生命にかかわる事業を推進している。方部委員会は夏休み中のプール当番の配当や廃品回収への協力など、会の運営を支えている。

後半、不十分だったが、信夫P当番校としての教育フォーラム、新春懇談会なども加え、会員の御協力に感謝している。

特色あるPTA活動

《安達》

親と子と祖父母の ふれあいPTA活動

大玉村立大玉中学校PTA

本村は、交通の大動脈である国道四号、東北自動車道、東北本線が縦貫し表に阿武隈山麓、背中に安達太良山を望める、気候温暖で緑豊かな自然環境に恵まれた、面積七九・四六平方キロメートル、人口八、二〇〇人の村であり、そのほぼ中心部に本校があります。大山中学校と、玉ノ井中学校の二校が統合し昭和五十一年に現在の地に移り、今日に至っています。

近年急激な人口構造の高齢化・国際化・情報化の進展に見られますように住民のニーズもますます多様・多元化し、真の意味での質的向上を求めようになっています。



母の教育に対する関心は高く、協力的であり、その中核となるPTA活動は重視されています。生徒数四一七名（PTA会員数三七八名）、学級数十三の中規模校であり、会員の教養を高め、生徒の幸福な成長を図ることを重点目標として絶大な協力態勢を得ながら、成果を挙げてきました。

PTAの主たる活動の中で、近年高齢化社会が、

ささやかれるなか、学校文化祭の時に、ふだん学校とあまり縁の無い人生の先輩である、祖父母に対し、文化祭の発表等を見学し、孫の学校での生活を家庭に返ってから生徒と父母、そして祖父母とのコミュニケーションを図ってもらう目的で祖父母参観を実施している。この祖父母参観を有意義に実施するため、本部役員、教養委員会、厚生委員会、合同で昼食を準備し、その昼食時間を利用し、PTA役員と祖父母の懇談会を開催、祖父母から見た学校教育、PTA活動に対する率直な意見交換を行い大変好評を得ております。

又、整備委員会と一年委員会の合同で、生徒と父母と一緒に日曜日の朝五時三十分から、学校敷地の環境整備を学級単位で、年四回行っている。この作業を通じ、生活に忙しくコミュニケーションが空洞化している現在、親と子のふれあいを育み、生徒の健全育成に寄与するためのPTA活動を行っている。

《岩瀬》 親と子が共に成長する 触れ合いを求めて

須賀川市立第三小学校PTA

本校は、須賀川市の東部に位置し、東北一と言われる牡丹園のすぐ近くで、国道一一八号線に接し、今や県全体の期待を担って開港の待たれる福島空港へは十キロという地点にあり、自然環境、交通環境共に恵まれた所にあります。児童数九〇〇名、PTA会員数六六〇名の規模を持っています。

私達のPTAは、父母



(親子奉仕作業)

と教師が協力して、家庭学校、社会における児童の健全な成長を図り、併せて会員の親睦と教養を高めることをもって目的としています。

会の構成は、本会と五つの専門委員会、六つの学年委員会、八つの地区委員会からなり、実際の活動は、それぞれの専門委員会を中心に遂行されています。各専門委員会とも、特色ある活動を展開しているのですが、その中で学年委員会について紹介しますと、学年委員会では毎年「親子の集い」という行事に取り組みで、共働きの多い地域のため、親子の触れ合いをつくり出そうとしてきました。今年度は更に内容的に特色あるものとなってきました。例えば第五学年では「アドベンチャートレイル」と称して親子混合のグループをつくり、牡丹園などを含めた広い地域で、課題に挑

戦して行くことを行いました。その課題として、「百グラムの石を一個拾う。」「空き缶をできるだけ多く拾う。」「自然の草木・実で風車を作る。」「牡丹園の水道の水の温度は?。」「昆虫を三匹捕える。」などがあり、単に楽しむだけでなく、親子が一つの目標に向かって協力し、ルールを守り、自然に触れながら活動でき、トラック一台分の空き缶が集ってびっくりにしたり喜んで、親が子を、子が親を互いに見直したりなど、大きな成果が得られました。他の学年でもりんど狩り、いも煮会、クリーン大作戦等地域性を活かしながら、児童の健全な心と体の育成のために取り組んでいます。

更に今後も、親子共々成長していくようなPTA活動を推進していきたいと考えています。

* * *

特色あるPTA活動

《白河》 生徒の健全育成を願う 積極的な活動を

白河市立白河中央小学校PTA

我が中央中PTA活動が果たして他校のPTA活動と比較して特別ちがうところが、あるかどうかかわかりませんが、現在の状況について書いてみたいと思います。生徒数千五百十人、父母約八百六十名という県下有数の大規模校であります。勉学は元よりクラブ活動も非常に活発に行われており、PTA活動も一昨年に県PTA会長賞、昨年には文部大臣賞を受賞致しております。PTAの組織的には各学年委員会と専門部として教養部、厚生部、広報部、施設部、校外指導部があります。教養部は学校教育及び社会教育の理解を深めるとともに会員の教養を高める

ために家庭教育学級を開いております。その中には講演会あり、研修視察あり、趣味の講座ありと多種多様な事業を年に七回行っており、ここ数年はまとめとして「あけど学級の歩み」を発行して活発に活動を致しております。厚生部は会員の福利厚生に関する活動として、PTA球技大会、ソフトボールとバレーボールを開いております。どちらにも記事だけでなく、写真を多く取り入れたり、アンケート調査などもしております。各学年委員会は学年の運営の為に役員が中心となり活動を致しております。

今後の活動と致しましては、いかに父母の参加意識を高めるかということにあると思われま。以上が当校の活動の現況です。



(樹木のせん定作業)



《耶麻》 子どもは主役で 父母は黒子で

喜多方市立第一小学校父母と教師会

本校は、ラーメンと蔵の街でおなじみの喜多方市の中央に位置し、東に雄国山、西北に飯豊連峰を仰ぎみる環境に恵まれた所であり、児童数は六九二名であります。

本校のPTAは、子供達の健全な育成を図ることを目的として、「子供を主役に、父母は黒子に徹すること」を合言葉にし側面から子供達を力強く支えて行こうとしてお

ります。また、「学校教育についての理解を深め、その成果が上がるよう協力すること」をめざして、父母と教師の連絡を密にし、互いに独断と偏見を排除して行こうと努力しております。

これらの点を踏まえて長年にわたり活動してきたところ、本会が平成三年度全国優良PTA文部大臣表彰を受賞しました。歴代のPTA会長をはじめ先輩の会員・現会員ともどもこの受賞を誇りとし、今後も努力を怠らないうよう決意を新たにしております。

し、子供達の健全育成のための活動を意識的に実行しております。本年度の事業で大きなものを紹介しますと、会員の親睦と子供達の連帯感を深める伝統的行事のしきみ球技大会や親子スキー教室、両親学級とその日に行われるバザーや教育講演会があります。



(猫魔スキー場
250名参加の
親子スキー教室)

活動は、各執行部(一)学年委員会(六)特別委員会(三)がそれぞれ自主的に事業に取り組み遂行していることが本PTAの大きな特色であります。さらに、一会員一事業制を目指し全会員が事業の立案から実行までのお手伝いができるよう努力

学年事業としては、親子で行うことが多く、キャンプ、磐梯山・大仏山への登山、魚市場の早朝見学、昔遊び、昔話を聞く会などが多く、出席率は常に九十%を越えております。広報活動は一二二号となる「しきみ時報」を年四回、常任委員会だよりを月一回発行しております。購入希望を明確にしてバザーを実施し、アスレチックやフェンスを造成しております。

特色あるPTA活動

《いわき》 汗と奉仕のPTA

いわき市立四倉小学校PTA

本校はいわき市の北部に位置しており、太平洋に面した白砂青松の海岸線がすばらしい風光明媚な地域です。当PTAは、昭和二十三年より発足し早や四十四年目を迎える事になりました。会員数も多いときは千名を数えましたが、現在は生徒数の減少とあいまって五三三名となっております。

当PTAの組織は、常任委員会を筆頭に、総務、文化、厚生、環境、体育、校外補導、交通安全母の会、学年委員会が構成されております。各委員会はそれぞれの事業計画に基づいて実施されていきますが、事業の一部を紹介いたしますと



(PTA虫歯予防
おやつ講習会)

母の会は校外における子供等の交通事故未然防止等があげられる。又、全体事業としては二年に一回実施している執行部主催による御菓子づくり講習会と、会員の皆様の御協力によるバザーの開催がPTAとして大きな事業となっております。

四十三年の歴史の中では有為曲折が多々あったと思われませんが、その間文部省指定のむし歯予防モデル校にもなり、平成三年度には県より社会教育功績顕著な団体として受賞する事が出来ました。これも教職員、PTA諸先輩・地域の人々と会員が一致協力して各種事業に積極的に活動してきた結果と思えます。

最後に本校の教育目標は、「すすんで勉強する子」「おもいやりのある子」「からだをきたえる子」の三つであり、社会に役立つ人間形成を旨として努力している。願わくば、社会の変化に対応し正しく判断し清く正しくたくましく…。



(浜方部でのセミナー)

PTA活動のあり方や、母親としての役割等について研究を深め、PTA母親リーダーとしての資質の向上を目指す「第十二回県PTA母親リーダーセミナー」が今年度も十月から十一月にかけて県四方部で開催された。

△県北方部▽
すばらしき女性達

吉井田小学校PTA副会長 渡辺八重子

「私、人前で話したり書いたり苦手できないわ。」 そんな事を言っていたお母さん達、いざ討議が始まったらさちんとお話し、書記に選ばれた方は、きれいな字を披露してくれましたセミナーの風景の一コマです。

てくれるようです。ただ話すのではなく、目的意識を持つての話し合い、ポイントのつかみ方、きつとそれぞれの団体に帰ったら役立つことでしょう。

△県南方部▽
子を思う親の気持ちは一つ

鏡石中学校PTA副会長 石淵津喜子

て皆ない顔してます。普通であればテレ臭くできないレクリエーションでの合唱やゲームも十年前に戻ったようです。楽しくできました。いくつになっても学ぶというのは心地良い何かを残し

十月二十五日、あいにくの降る寒い一日でした。どんな会になるのだらう。どんな人達との出逢いがあるのだらうと不安と期待とで、会場であ

母親セミナーに参加して

△浜方部▽
子どもの自覚と親の責任

内郷第一中学校PTA 国井千代子

八年前に大野で開催された時に会場を尋ねながら参加したことが昨日の様に思い出されました。いわきから十六名が参加しましたが、いわきは広域なので顔見知りの方もなく心細くなりました。疲れと緊張をほぐすために三部合唱をし研修に入りました。模擬テーマとして「何度言っても起き

るのが遅くて遅刻が多く困っている。」、六六討議で話し合いました。私の班は中高大生の子を持つ集まりで結論としては子供に自覚を持たせるのが大切なのではないか。やはり子育ての時点で親の責任が大であると私は感じました。

セミナーの最中、失敗しても足の引っ張り合いがなく、みんな自分の事として促えてくれているのがわかりました。女性のすばらしさを再認識した一日でした。

△会津方部▽
「バズセッション」から得たもの

熊倉小学校PTA 折笠 良子

普段、私達が何気なく進めている会議の持ち方の方法を理解し、PTA活動の活性化を図ろうと、ひとつの方法として、「バズセッション」に取り組んだ私達は、講師の渡辺憲一先生の御指導のもと、初めに全体会で話し合いのテーマを決め、グループでの話し合いに入りました。全体の司会者は、グループ内での話し合いをまとめて、全体会で意見交換をして話し合いを煮詰めていくというやり方でしたが、何分聞き慣れない言葉に私達参加者は、初めはとまど

を迎え「PTAでの会議の持ち方」についての講義を受け、演習をし、レク指導があり、研修のまとめと内容の濃い充実した一日となりました。知らない方ばかりでしたが子供の話になると、みなさん活発に、悩み、心配ごとを話され、以前からの知り合いのように話が

はずみました。会議の進め方、子育てについて沢山の学びました。私も三人の子の母親ですが今回末っ子の親としての参加でした。長男の時に参加できていたら、もっと良かったのにも思いますが残り少ないPTA活動に今回学んだことを生かし全力を注ぐつもりです。

福大附小 四年 渡部 喬光

元氣

蓬萊東小 三年 松井 暢彦

松井暢彦

用心

綴小一年 さなだやすよし

さなだやすよし

ゆめ

小浜小 一年 わたなべより

わたなべより

にじ

習字 最優秀 作品

第15回

子どもの災害事故防止 習字 輝く入賞者決まる

第十五回子どもの災害事故防止習字・ポスター展の審査は二月七日と七日に福島県青少年会館で行われ、習字二九六点、ポスター五四点の入賞が決まった。今年、習字一六〇校から二九二〇点、ポスター一は六六校から五三五点の応募があった。習字の審査は、

蓬萊東小学校教諭本間貞二氏、福島大学附属小学校講師桑原兵永氏、元野田小学校教諭小田雄氏が、ポスターは、元福島第四中学校長力丸毅氏が一点一点慎重に審査した。各学年五点的の学校代表作品のため子どもらしい力作がそろい、生き生きとした力強い作品が多かった。

ポスター

【小学校の部】

◇最優秀賞

- あべみゆき(一箕小一年) 近藤 幸志(白河一小一年) 加藤 美香(河東二小二年) 木俣 美咲(明和小四年) 渡部 慶一(一箕小五年) 四家 章子(豊間小六年)

◇優秀賞

- 鈴木 庸元(坂下小一年) 山部 晋一(大塩小一年) 下重 彩(白河一小三年) 高橋 茂樹(福田小俣四年) 馬場 香明(小五年) 黒田 光晴(鹿島小俣八年)

◇優良賞

- 眞壁 甲英(柏城小一年) 船岡 亮佑(鏡石一小一年) 建多那津恵(社川小三年) 渡辺沙耶香(塩川小四年) 小林 愛(坂下小四年) 若林 里美(明和小四年) 高橋 寛典(一箕小五年) 野地 友美(蓬萊東小五年) 大広 将之(蓬萊東小五年) 萩沼 浩子(豊間小六年) 小沢 健一(刈野小六年) 伊藤 篤(多田野小六年)

◇佳作

- 洪佐 絵里(草野小俣一年) たかはしまゆみ(一箕小一年) 大須賀康伸(鏡石一小一年) 築田 綾(大塩小二年) 矢部 和美(奥川小二年) 庄司 誠(夏井小二年)

◇優良賞

- 迎 久美子(山白石小三年) 矢田部陽子(社川小三年) 湯田 幸知(荒海小三年) 酒井 暢子(二本松北小三年) 鶴沼 由佳(鏡石一小二年) 大越 香苗(桑野小四年) 鈴木 理恵(翁島小四年) 空間 三和(千里小四年) 山内 忍(明和小四年) 柳 明仁(鏡石一小四年) 角田 歩(明和小五年) 高橋 美輝(明和小五年) 生駒 佑子(福浦小五年) 斎藤 忠信(蓬萊東小五年) 丹治美由紀(蓬萊東小五年) 菊地 利江(豊間小六年) 佐藤 文彦(柏城小六年) 山田 裕子(二本松北小六年) 岡田 千春(鹿島小俣八年) 山内 鹿子(大浦小六年)

ポスター最優秀作品

【中学校の部】

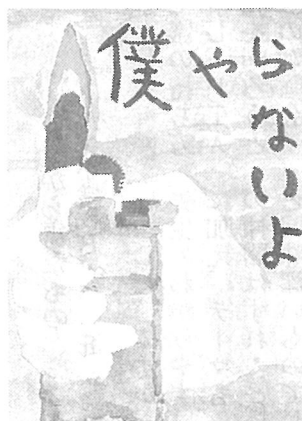
- ◇最優秀賞 高橋 弓恵(若松一中一年) 猪俣 智(若松二中一年)

- ◇優良賞 菊地 美樹(若松二中三年) ◇佳作 高田 綾(若松一中一年)



白河二小 二年 近藤 幸志

河東三小 三年 加藤 美香



一箕小 一年 あべみゆき



安全

【入会】大谷賢一朗

平六小 五年 大谷賢一朗

健康

【入会】東山 宮沢厚志

東山小 六年 宮沢 厚志

発展

桃陵中

冠本直子

桃陵中 一年 冠本 直子

躍進

本多宏江

平野中 一年 本多 宏江

躍進

【入会】泉北中 村上崇広

泉北中 三年 村上 崇広

習字

【小学校の部】

◇最優秀賞

わたなべりよ(小浜小一年)

さなだやすし(綴小一年)

松井 暢彦(蓬萊東小三年)

渡部 喬光(福大附小四年)

大谷賢一朗(平六小五年)

宮沢 厚志(東山小六年)

◇優秀賞

たかむらちさと(福大附小一年)

すずき 歩(一箕小一年)

わたなべしおり(郷ヶ丘小一年)

かまくらまさのり(福大附小一年)

佐藤 崇史(五百川小一年)

大谷 智宏(平六小二年)

薄井 智幸(福大附小二年)

渡辺麻美子(小浜小三年)

鈴木 夏美(一箕小三年)

小林 未来(綴小三年)

佐藤加奈子(郷ヶ丘小三年)

伊藤 剛(蓬萊東小四年)

石井 郁子(須賀川小四年)

箭内絵里子(船引小四年)

荒井 康之(坂下小四年)

佐藤 千草(中央台北小四年)

鈴木 芳樹(福大附小五年)

渡辺 貴子(護教小五年)

目黒 絵理(南郷二小五年)

印南 春樹(明和小五年)

小島 聖子(綴小五年)

猪俣光太郎(蓬萊東小六年)

曾根志保美(鏡石小六年)

小川 浩美(綴小六年)

鈴木めぐみ(郷ヶ丘小六年)

◇優良賞

さいとつりさ(塩沢小二年)

はしもとまなぶ(大平小一年)

すずきひろあき(白河二小一年)

ほしたくみ(南郷二小一年)

わかさあきひろ(須賀川一小二年)

だいらくなつこ(竹貫田小二年)

吉田 篤子(白河二小二年)

すずきりゅうた(宮小二年)

菅野 薫秀(清明小三年)

山岸 俊介(福大附小三年)

高橋 励(須賀川一小三年)

井野元玲子(須賀川二小三年)

根本 剛(竹貫田小三年)

荒井 麻希(白河二小三年)

安藤 勇(綴小三年)

木元 陽子(須賀川二小四年)

関根 政人(天森小四年)

遠藤 学武(竹貫田小四年)

大越 美和(白河二小四年)

佐藤 弘幸(宮小四年)

中野 伸一(綴小四年)

草野 裕子(蓬萊東小五年)

永井 裕子(東山小五年)

東海林麻希(船引小五年)

高木久美子(一箕小五年)

酒井亜紀子(坂下小五年)

片桐 美樹(勝常小五年)

桜本 太志(金房小五年)

古井 佐織(清明小六年)

佐藤 直子(松川小六年)

海野多恵子(福大附小六年)

笹川 清恵(美郷小六年)

佐久間文美(一箕小六年)

八矢あゆみ(湯本二小六年)

鷺谷 綾子(郷ヶ丘小六年)

【中学校の部】

◇最優秀賞

冠本 直子(桃陵中一年)

本多 宏江(平野中一年)

村上 崇広(泉北中二年)

◇優秀賞

坂路 妙子(須賀川一中一年)

小林由香理(白河中央中一年)

平井 純子(藤芳中二年)

◇優良賞

阿部 悠生(鏡石中一年)

鈴木 麻水(若松三中一年)

三瓶 雅子(富岡二中三年)

◇佳作

永沼 佳子(石川中一年)

鈴木 智子(金堂妻中編一年)

大森 敬士(白河中央中一年)

白石 啓介(小野中一年)

白井 公貴(若松五中一年)

和田 育子(若松三中一年)

武藤奈緒子(北会津中一年)

真部 麻美(山都中一年)

坂和 智美(富岡一中一年)

菅野めぐみ(富岡一中一年)

根本 利栄(広野中一年)

高橋 絵理(金堂妻中編一年)

千葉 吉記(白館中一年)

海老名里美(鏡石中一年)

石井 綾子(富岡中一年)

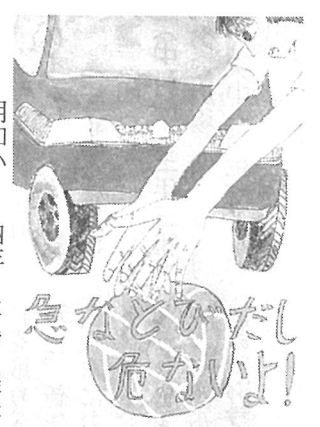
山内 美奈(若松五中一年)

渡辺 純子(昭和二中一年)

内山 重和(白河中央中二年)

山口 恵美(北会津中三年)

佐藤 寛子(白河中央中三年)



明和小 四年 木俣 美咲



一箕小 五年 渡部 慶一



豊間小 六年 四家 章子



若松二中 二年 高橋 弓恵

福島県PTA安全互助会加入状況と事故件数

(H. 4. 1. 31 現在)

区分 地区	小・中学校別						傷害事故件数		
	小学校		中学校		合計		学童	PTA	合計
	単P数	加入率	単P数	加入率	単P数	加入率			
福島	48 (26)	100.0	20 ㉔	95.2	68	98.6	269	19	288
達南	12 (5)	100.0	3	100.0	15	100.0	45	1	46
伊達	30 (14)	100.0	8	100.0	38	100.0	107	17	124
安達	33 (14)	100.0	10	83.3	43	95.6	215	7	222
郡山	57 (5)	93.4	13	46.2	70	80.5	195 (2)	31	226
岩瀬	23 (5)	95.8	7	53.8	30	81.1	83	2	85
石川	26 (7)	100.0	7 ㊦	87.5	33	97.1	63 (1)	2	65
田村	37 (13)	97.4	14	93.3	51	96.2	113	4	117
西白河	27 (12)	100.0	14	100.0	41	100.0	135 (1)	5	140
東白川	22 (7)	100.0	4	100.0	26	100.0	59 (1)	7	66
若松	18	100.0	8	88.9	26	96.3	64	5	69
北会津	16 (10)	100.0	6	100.0	22	100.0	61	5	66
両沼	18 (9)	100.0	4	40.0	22	87.0	35	1	36
大沼	10 (2)	100.0	4	100.0	14	100.0	33	1	33
耶麻	30 (6)	93.8	10	71.4	40	87.0	78 (3)	2	80
南会津	19 (1)	100.0	11	100.0	30	100.0	55	5	60
いわき	41 (8)	57.7	14 ㊦	33.3	55	48.7	70 (1)	15	85
双葉	19 (7)	100.0	10	90.9	29	96.7	89 (1)	19	108
相馬	32 (16)	100.0	12 ㊦	92.3	44	97.8	150 (2)	18	168
合計	518(172)	93.3	179 ㊦	73.1	697	87.1	1,918(12)	166	2,084

()は幼稚園数

()は学童の死亡事故件数

㊦は養護学校(福島・相馬)・分校(石川・いわき)

県PTA安全互助会だより

本年度より児童生徒の賠償責任補償制度が新しく設定され、二月一日現在で、十一件の請求があった。その事例の一部を紹介する。

例一 小学生が友人と話しながら自転車で走行中駐車中の自動車に衝突し、キズをつける。

例二 小学生が自宅前道路でサッカーボール練習中、隣の家の窓ガラスを破損。

例三 下校途中、小学生が上級生にからかわれて喧嘩になり、投げた小石が店のガラス窓を破損。

例四 放課後、小学生数人が校庭でサッカーボール中、駐車場にとめてあった自動車のフェンダーミラーを破損。

例五 小学生が店の駐車場で遊び中、ブロックべいにむかって投げたビー玉が隣家のガラス窓を破損。

この制度はA・B・Cの3コースに付加されている。平成四年度も、児童生徒、PTA・PTA会員が安心して活動できるように、ぜひ、継続また、新規にご加入いただきたい。加入申込みは五月二十日まで加入手続きをすませると、同年四月一日にさかのぼり補償適用となるので、早めに申込みをお願いしたい。

窓を破損。

県小中学校新聞コンクール入賞校決定!

このコンクールは、福島民友新聞社、県PTA連合会が主催し、県教委、県小学校長会、県中学校長会の後援のもとに、PTA会報、学校新聞などのレベルアップを目的に開かれているものである。

応募作品は、昨年一月から十一月までに発行されたものです。今回はPTA会報、学校新聞合わせて九十三校から約四百点の新聞が寄せられ、審査の結果二十三点の入賞が決定した。

入賞した二十三校には賞状と盾が贈られ、またPTA会報の部の最優秀作品は「全国小・中学校PTA広報紙コンクール」に出品されることになっている。

しゃくなげ (岳陽中PTA)

おやまだ (小山田小PTA)

こまよせ (下川崎小PTA)

鳥和の森 (鳥川小PTA)

けやき (森合小PTA)

はぐるま (桃陵中PTA)

さくらぎ (郡山五中PTA)

ごんげん山 (南山形小PTA)

まとい (表郷小PTA)

かわかせ (城西小PTA)

城北時報 (城北中PTA)

二つ箭 (小川小PTA)

希望 (松陽中第一学年)

双小だより (双瀧小だより)

須中タイムス (須釜中生徒会)

入選 (四点)

飛躍 (中村一小三年三組)

ふれあい広場 (矢吹中一学年だより)

湯川 (若松三中生徒会) 一つの朝 (坂下二中三年四組)



(審査風景)

平成四年度 行事予定

.....

六月三日

.....

八月二〇日・二一日

.....

九月四日・五日

編集後記

▼週五日制の導入、生活科を取り入れた新しい教育と、新年度は二十一世紀教育に向けてのスタート。▼子ども達の幸せを願うPTAとして、何をやるべきかこんな思いを込めて33号をお届けします。